



2025. 秋号

【NPOだより】

●音楽と芸能の贅沢な時間！「いっぷく」「コンサート」

五年ぶりの開催となった昨年に続き、今年も無事に「いっぷく」を開催することができました。何事もなく、毎年開催できることをとてもありがたい事なのだと改めて感じます。



第一部は、地元である春日井市押沢台から、音楽ユニット「ミューズの会」皆さんに出演いただきました。地域の音楽祭やイベントを盛り上げたり、活動が新聞に掲載されたりと、大活躍の皆さんです。

代表の田中さんの美しい歌声や、ピアノ、鍵盤ハーモニカ、カホンといった様々な楽器の合奏が会場に響き、とっても優雅な秋の日の昼下がり。映画、サウンドオブ・ミュージックの名曲「ドレミの歌」は、会場のお客さんも一緒に歌い、会場が楽しい雰囲気になりました。

第二部は、いつか「いっぷく」に出演して頂きたいと思い続けた「加藤木朗さん」をお迎えしました。

まず、独楽（こま）の芸では、元気な小学生の男の子二人が舞台上がってお手伝いしてくれました。二人のおかげで独楽は無事に綱を渡り切ることができ、めでたく「お客様のところに年末までに良いことが一つ渡ってくる」ということになりました。

その後も、獅子舞の厄払いや、躍動感あふれる舞、お弟子さんによる琵琶や胡弓の独奏など珍しい演目が続き、大阪城を築く際に打ち鳴らしたという『だんじりばやし』のバチさばきには、驚きとともに大きな拍手が贈られました。

お帰りの際は、お客様の晴れやかなお顔が印象的でした。ご来場いただいた皆様も、残念ながら来られなかった方からも、心のこもったメッセージやご寄付など、たくさんのお心遣いを頂きましたこと、心よりお礼申し上げます。（林）

【グループホームだより】

●秋の個別レクリエーション

① A・Iさん、『名古屋市科学館』へ 【羽澄】

Aさん、何十年か振りの科学館！一番の楽しみはプラネタリウムだとの事で、まず展示室とプラネタリウムのチケットをゲットしてから各階へ。

二階のふしぎの広場では、太ったAさん、細長いAさんを体験。三階のモノづくり都市パノラマで電車の運転に挑戦。時々「スピード出しすぎです」と言われながら到着。結果は「もう少しがんばりましょう」でした。

四階、五階と周って早めのランチにしようと思ったのですが：なんと科学館に併設されているカフェとお土産屋さんが前日に閉店していたショック！近くのカフェに変更しました。

午後からのプラネタリウムは解説のお姉さんの声が心地よく、私は何度も眠りに引っ張られました。Aさんは五十分間しっかり見られたとの事でした。

一番良かったのは、愛知県（北半球）では見る事ができない南半球

の星座が見られた事で、Aさんは「勉強になった」と大満足。私はほぼ初めてくらいの科学館、一緒に体験できてはしゃぎっぱなしでした。頭を使ったので、帰りにケーキとコーヒーでリフレッシュ！楽しい一日をありがとうございました。



② O・Sさん、K・Hさん『名古屋港水族館』

Oさん、Kさんとスタッフ二名で名古屋港水族館へ出かけました。

私はOさんとの初めて個別外出で、我が子の幼かった頃以来、十年ぶりの水族館でした。行きの電車では、「ペンギン見たい、イルカも見ようね、お土産買うのも楽しみ！」など色々な話をしました。館内では大きな水槽を悠々と泳ぐ魚や、色とりどりのサンゴ礁、クラゲのゆったりとした動きなど、見ていると心が落ち着きました。

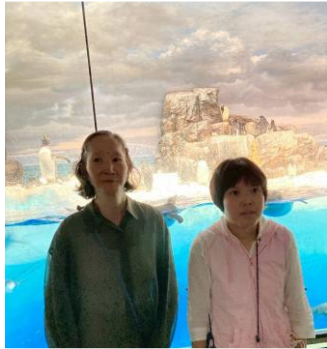
人気の「イワシのトルネード」という水槽では、約三万五千匹のマイワシが群れになって泳ぎ、その迫力に思わずOさんと一緒に見入ってしまいました。目的のペンギン館では、丁度お食事タイムで、えさをやりを間近で見ることができました。

静かな館内を歩きながら、青い空間と水の流れる音を聞いていると、日常の忙しさやストレスを忘れて心が癒やされました。

【八色（真）】

一番面白かったのは、大きな水槽で泳いでいたイルカがウンチをして、鼻をつまんで大笑い。そして「くさい！くさい！」とジェスチャーで何度もアピール。本当に面白かった様です。【加藤】

二人ともお土産もたくさん買うことができてとても良い表情をしていました。とても素敵な時間を過ごせて感謝です。



③ I・Mさん『雨の東山』 【森】

なぜか外出の機会に雨の多いMさん。東山動物園を希望しながら今回も大雨予報。ところが当日は予報もずれ、傘をさしている人の方が少ない程の小雨。

おかげで人も少なめ、見たいとバッチリ下調べされたお目当て動物が目の前でゆっくり観察できました。

お目当てが広い園内に点在、ゴリラにオオトカゲ、北極グマ：昼過ぎには一番奥のヤマネコさんにも会いに行けました。

ところがその頃にはポツポツどころかザー降り。モノレールには乗らず歩きたいとの希望で傘も役に立たない雨の中を

てくてくと。車に戻った頃には膝下水没、上から下まで濡れネズミになり大笑いして帰路につきました。



④ Y・Tさんとショッピング [林]

Yさんに希望を尋ねると、「イエヤスに行つてみたいねえ」との事。

春日井に徳川家康のテーマパークあったかな？と思いながら話を聞こうちに、どうやら「イエヤス」ではなく、「イーアス」だということとが判明。ということで、『イーアス春日井』へ出かけました！

Yさんは買いたい物がたくさんありました。下着に靴下、ハンカチ、絵本、お箸と、広い店内を順番に回りながら探しました。ランチはご希望のお寿司屋さんで握りずし八貫にうどんのセットを美味しく頂き、午後からも、アンパンマンのハンカチや花

柄の靴下など、意外になかなか見つからない商品求めてお店巡り。

全て買い終わり、お待ちかねのコーヒータイムと思ったら、なんとドーナツ店のコーヒーバーが故障中。でも、二人ともコーヒーの口だったので、私はテイクアウトできる店を探して店内をもう一周。やっと手に入れたコーヒーとドーナツをゆっくり食べて帰りました。



⑤ I・Tさん、待望の映画館へ！ [八色（飛）]

今回の個別外出は、玉枝さん待ちに待った劇場版『鬼滅の刃』を観にミッドランドシネマ名古屋空港へ出掛けました。お昼またぎの上映だったので、ドーナツとポップコーンのドリンクセットを買い、食べながら観ることにしました。

上映前はおやつをパクパクつまんでいた玉枝さんでしたが、いざ映画が始まると画面を真剣に見つめ、時折り「そうだよね」「がんばれ」など呟きながら完全に映画に入り込み、炭治郎と一緒に鬼退治をしていました。

映画館を出る際には「楽しかったー！次の鬼滅の刃の映画も観ようね！」とすでに次回作に思いを馳せていました。

映画の後はマクドナルドで少し腹



ごしらえをして、お土産もすっかり買い、そのままお母さんが待つ自宅に帰省しました。三時間弱の映画をずっと集中して観られたことは驚きでした。お母さんへのお土産の和菓子も、大きいのを選ぶところもかわいいいTさんです。

⑥ O・Mさん、何度でも行きたい『エアポートウォーク』[荒井]

当日はお天気も良くお出掛け日和でした。一週間前から「何買おうか？何食べようか？」とテンション高く楽しみにしている様子がビンビン伝わって来ておりましたが、当日の朝にはその疲れが出たようで、車に乗って出発すると間もなく居眠りが始まり、到着するまで全く無言でした。

先ず趣味の貼り絵に使う色紙、画用紙、ノリを買い、昼食はご希望のバイキングレストランに入りました。慣れたもので一番にビールを

注文し、好きなものを自分で皿に取ってきて黙々と食べました。デザートまでしっかり食べた頃には、もう全ては終わったかの如くひと言も発しなくなりました。

帰りに喫茶アルデンテ・パパに寄り、大好きな午後のココアを楽しんでMさんの個別外出は終わりました

【スタッフ近況】

●八色さん、事件です！ 「八色知」



去る八月二十三日、十五年ぶりの同窓会を終えて金沢から穴水の実家に帰る途中で、穴水警察署から突然電話が入った。「ご実家に空き巣が入り、今調査中です。至急帰ってください。」と言われ、これは警察を名乗るサギか？と思いつつも、色々話を聞いているうちに事実であると理解した。二十一時過ぎに実家に到着すると、鑑識の方二人、警察官三人と物々しい状況にビックリ。家の中に入ることはできず、質問攻め。夜中一時過ぎによりやく家の中に入る許可が出た。

「まさか」が現実になり、結局盗られたものは無いとの結論に達したものの、台所に一本の包丁が置かれていたのを見て背筋が凍った。まるでドラマのワンシーンの様な現実であった。

父が亡くなり、地震後は空き家状態で一年半、国道沿いにある我が家は侵入しやすく逃走しやすい条件はそろっている。幸いにも現金も貴金属も置いていなかったのも、入り損だったことと思うが、それにしても何だか気味悪く、今までのような気持では帰れないと思った。早々にアルソックの警備を契約し、一段落となった。

弱みに付け込むこの手の犯罪は許せないと強く思った。これは、事件でした。所さん。

《ご寄付いただいた皆様 七〇十月》

河津様 羽澄様 大塚様 中島様 三浦様 掛布様 城殿様
森 様 萩原様 加藤様 中村様 並河様 一山様 黒崎様
筏津様 竹本様 牧野様 前田様 川口様 宮嶋様 平賀様
松平様 青木様 河合様 鈴木様 原 様 児島様 柴田様
山口様 (石川県) 川口和子様 理容カンベ様

十月はコンサート会場でもたくさんのご寄付をいただきました。ゆうなぎの活動への温かいご支援、心より感謝申し上げます

編集後記

休み明けの朝、小学生の娘と通学班の集合場所に行くと、二年生の男の子が「昨日、島に行ってきた」と言うので、「いいねえ！船に乗ったの？」聞くと、「電車で行った」「しなのに乗った」との事。『特急しなの』で行ける島？どこだろう。何かヒントがないかと、「お土産買った？」と聞くと、「限定のポテトチップを買った」「何味？」「わからない」・・・謎は解けませんでした。子どもたちの感じていること、考えていることには興味が尽きません。

十月のいっぷくコンサートはおかげ様で無事に終える事ができました。お帰り際に多くのお客様が「とてもよかった」「素晴らしかった」「友達も誘えばよかった」等と感想をお伝えくださいました。「楽しみにしていたけど、地元のお祭りとなつて」という方もいらつしたので、来年も楽しみにしていただける企画、頑張ります！（林）

発行日 令和七年十一月五日

発行 NPO法人ゆうなぎ（春日井市高蔵寺町一〇一六）

発行責任者 荒井吉広／構成・編集 林 晶子